

先端酵素学研究所の新設

平成 28 年 4 月、徳島大学は、学内の研究者を集結して疾患制御に向けた生命医科学研究を推進する拠点「先端酵素学研究所」を新設いたします

(報道概要)

徳島大学は、平成 28 年度からはじまる第三期中期目標期間の始動に際して、学内の生命医科学研究者を集結して疾患制御研究に取り組む研究拠点「先端酵素学研究所」を新設いたします。

先端酵素学研究所は、徳島大学が初めて設立する研究所です。この研究所は、疾患酵素学研究センターと疾患プロテオゲノム研究センターを融合するとともに、藤井節郎記念医科学センターと糖尿病臨床・研究開発センターを附属施設として統合し、新たに設立する研究所です。

疾患酵素学研究センターは、1961 年に設立された「医学部附属酵素研究施設」に始まり、優れた研究成果を生み多くの優れた研究者を輩出してきた酵素学の豊かな伝統をひきつぐ研究センター、疾患プロテオゲノム研究センターは、ヒトゲノムとその遺伝情報発現を担うエピゲノムさらにその産物であるタンパク質情報を担うプロテオームの統合的理解によるヒトの健康の増進と疾患の克服に向けて先端的な研究成果を挙げてきた研究センターです。糖尿病臨床・研究開発センターは、糖尿病が徳島県でも克服すべき重要な課題であることから糖尿病の予防、重症化の阻止、そして健康寿命の延長をめざした研究と診療を推進しています。藤井節郎記念医科学センターは、徳島大学医学部酵素生理学部門教授を務められた藤井節郎博士の功績を記念して設立された一般財団法人藤井節郎記念大阪基礎医学研究奨励会からの寄付により設立され、学際・融合コンソーシアムを形成してオープンイノベーションをめざして医科学研究を推進しています。

先端酵素学研究所は、上記 4 研究センターを統合して設立することで、ゲノムから個体レベルまでの情報を統合したタンパク質・酵素の機能解析を主眼に、健康長寿社会に向けて疾患の根本的理解と治療法の開発を目指した研究を推進してまいります。このため、先端酵素学研究所は、文部科学大臣認定の「酵素学共同研究・共同利用研究拠点」の事業と「トランスオミクス医学研究拠点ネットワーク形成事業」を推進します。大学はもちろん企業との共同研究も推進いたします。

問合先

責任者：研究担当理事 野地澄晴

担当者：研究推進部 産学連携・研究推進課 玉田昌宏

電話番号：088-656-7312

メールアドレス：kenkyukachou@tokushima-u.ac.jp